

## 熊本県医師会館建設基本構想・基本計画

### 1 趣 旨

熊本県医師会は明治41年8月に発足以来、100年以上にも及ぶ歴史を持っている。

また、当地熊本は古くから医療・医学にとって大変縁の深い地であり、日本医師会初代会長の北里柴三郎先生をはじめ多くの先達を輩出するなど、日本の医療の先駆的な役割を果たしてきた。

その活動の拠点として、現会館は現在地に昭和43年8月に新築移転し、県民の医療・保健・福祉の向上に資するため会員一致団結して日夜努力をしてきたところである。

しかし、当会館は建設以来46年が経過しており、施設の老朽化、狭隘化が顕著であり、また耐震問題についても大きな不安があるところである。

新会館を建設する現在地は熊本市の中心部に位置し、正面に熊本市役所、後方には日本三大名城の一つでもある熊本城を前面に見渡せる絶景の地である。

会館建設に当たっては、県民に開放されたものとし、また、熊本城の景観と一体となるようなものにしたい。更には、十分な施設内容と情報化社会に対応できるための最新のIT技術を備え、熊本県医師会会員の拠点として、また、県行政とともに熊本県民の医療・保健・福祉事業及び災害時医療に対する拠点に相応しい多機能的な内容を有した会館とする。

### 2 施設名称 公益社団法人熊本県医師会館

### 3 計 画 地

(1) 所在地 熊本県中央区花畑町1番13号

(2) 面 積 1,539.57㎡

(3) 地域地区等	用途地域	商業地域
	建ぺい率	80%
	容積率	400%
	防火地域等	防火地域
	日影規制	なし
	地区計画	なし

### 4 建築物規模

(1) 延べ床面積 3,800㎡程度 (駐車場を除く)

(2) 構 造 応募者の提案による

(3) 階 数 応募者の提案による

## 5 敷地の整備状況

- (1) 造成の要否 否
- (2) 上下水道 上水道供用地域、公共下水道処理区域内
- (3) 電 力 九州電力からの供給
- (4) ガ ス 都市ガス

## 6 スケジュール(予定)

- (1) 基本設計業務・実施設計業務 平成 27 年 1 月～平成 27 年 9 月  
※ 基本設計業務と実施設計業務は、併せて発注する。
- (2) 建設工事(旧会館解体を含む) 平成 27 年 11 月～平成 29 年 2 月  
※ スケジュールは事情により変更する場合がある。

## 7 熊本県医師会館建設の基本方針

### (1) 人にやさしく安全な会館

会館は、熊本県医師会会員はもとより各種の医療関連団体が利用する施設であるため、わかりやすく、使いやすいユニバーサルデザインを導入した施設とする。

また、会員の拠点施設であるので、都市災害や自然災害に備えた防災拠点としての機能と設備を整えるとともに、地震に対しては高いレベルの耐震性を有する施設とする。

### (2) 県民に対して情報が発信できる会館

情報化社会の到来とともに、県民の医療に関する関心も高まっている。

このようなことを背景に、新会館は高度情報化に対応した環境を整え、防災時も含めてあらゆる方面へ情報発信ができるようにする。

### (3) 周辺環境との調和がとれた会館

会館は熊本市中心部に位置し、正面に熊本市役所、後方には日本三大名城の一つでもある熊本城を前面に見渡せる絶景の地である。

建設に当たっては、これらの利点を十分考慮に入れるとともに、熊本城並びにその周辺の環境に配慮するとともに、その景観を最大限にいかした施設としたい。

## 8 施設計画の基本条件

### (1) 敷地利用及び配置計画

ア 周辺街区とのつながりを生かした広域導線計画も考慮する。

### (2) 会館機能

ア ロビーには、心地よく休憩できるようなサロンを設ける。

イ 最先端の情報設備を備えたものとする。

### (3) 駐車場機能

ア 駐車場は原則自走式の 60 台を目安とするが、会館建設設計者の提案も考慮する。

イ 駐輪場については、自転車、原動機付自転車、自動二輪車が駐輪できる適切な規模台数を確保する。

現状面積

敷地面積 838.47 m<sup>2</sup> (254.0 坪)

建物面積 615.25 m<sup>2</sup> (186.0 坪)

延床面積 2,664.46 m<sup>2</sup> (807.0 坪)

追加敷地面積

386.10 m<sup>2</sup> (117.0 坪)

315.00 m<sup>2</sup> (95.5 坪)

合計敷地面積

1,539.57 m<sup>2</sup> (466.5 坪)

1.0 敷地図概要

